



2026年7月期第2四半期 決算補足説明資料

ラクスル株式会社（東証プライム市場：4384）

2026年3月17日



1

1. 2026年7月期第2四半期 連結業績
2. 参考資料

2026年7月期第2四半期 連結業績

- 各事業順調に推移し、2Qは売上総利益は21.5%成長、EBITDAも成長加速のための投資を予定通り行いつつ25.5%成長
- 調達プラットフォーム事業のオーガニック成長率は17.2%、引き続き高い水準を維持
- マーケティングプラットフォーム事業では広告代理店事業の活況や新規連結の影響で売上利益が過去最高

(百万円)	2026年7月期2Q (2025年11月-2026年1月)			2026年7月期2Q累計 (2025年8月-2026年1月)		
	実績	2025年7月期 2Q実績	前年同期比 成長率	実績	2025年7月期 2Q累計実績	前年同期比 成長率
売上高	18,513	15,043	+23.1%	35,748	29,753	+20.2%
調達PF	16,903	14,065	+20.2%	32,898	27,626	+19.1%
マーケティングPF	1,529	880	+73.7%	2,690	1,920	+40.1%
売上総利益	6,375	5,247	+21.5%	12,461	10,309	+20.9%
調達PF	5,418	4,542	+19.2%	10,718	8,928	+20.0%
マーケティングPF	929	675	+37.7%	1,695	1,319	+28.5%
売上総利益率	34.4%	34.9%	-0.5pt	34.9%	34.7%	+0.2pt
EBITDA (non-GAAP) ⁽¹⁾	1,740	1,387	+25.5%	3,452	2,918	+18.3%
営業利益 (non-GAAP) ⁽²⁾	1,504	1,261	+19.3%	3,004	2,621	+14.6%
当期純利益 (non-GAAP)	1,833	1,687	+8.7%	3,016	2,506	+20.3%
EPS (non-GAAP)	31.5円	28.9円	+2.6円	51.9円	43.0円	+8.9円

注

(1) EBITDA(non-GAAP)=営業利益(J-GAAP)+のれん償却額+減価償却費+株式報酬費用。以下「EBITDA」と記載

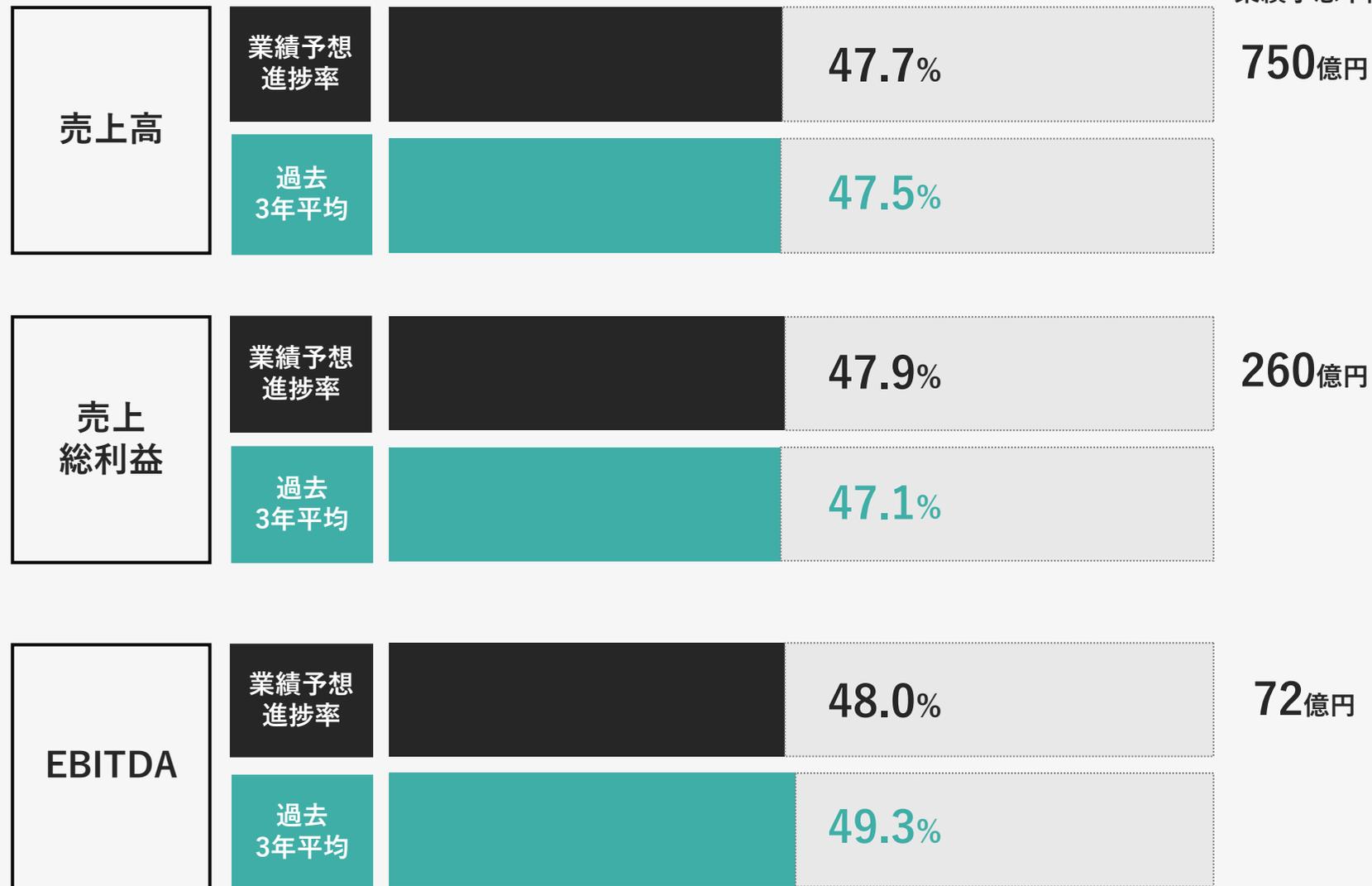
(2) 調整項目：のれん償却費、株式報酬費用



通期業績予想に 対する進捗率

- 2025年9月に開示した業績予想に対して良好に推移

2025年9月開示
業績予想下限





(参考)2026年7月期 通期業績予想

- 2026年7月期は投資を行い、オーガニック成長率を加速する。マージンの上昇幅は過去と比較して小さいが、将来の利益はより大きなものになる

(百万円)	2026年7月期 通期業績予想 (2025年8月-2026年7月)		
	業績予想	2025年7月期実績	YoY
売上高	75,000-77,000	61,950	+21.1~24.3%
売上総利益	26,000-27,000	21,684	+19.9~24.5%
EBITDA	7,200-7,700	6,096	+18.1~26.3%
営業利益(non-GAAP) ⁽¹⁾	6,200-6,700	5,402	+14.8~24.0%
営業利益(J-GAAP)	4,500-5,000	3,819	+17.8~30.9%
当期純利益(non-GAAP)	4,600-5,100	4,286	+7.3~19.0%
当期純利益(J-GAAP)	2,900-3,400	2,702	+7.3~25.8%
EPS(non-GAAP)	79.4-88.0	73.8	+7.5~19.2%
EPS(J-GAAP)	50.0-58.6	46.5	+7.5~26.1%

注

(1)営業利益から当期利益のNon-GAAP調整額は約17億円、のれん償却費と株式報酬費用を含む

連結売上高の推移

- 全社の売上高はすべてのカテゴリにおいて継続的に拡大。様々な需要に対応できるB2Bプラットフォームに成長

調達プラットフォーム事業

印刷・ソリューション領域

顧客が事業活動に使う紙への印刷物
大企業向け印刷ソリューション

ビジネスサプライ・周辺領域

顧客がオフィスや店舗で使われるモノ
その他サービス等

梱包材領域

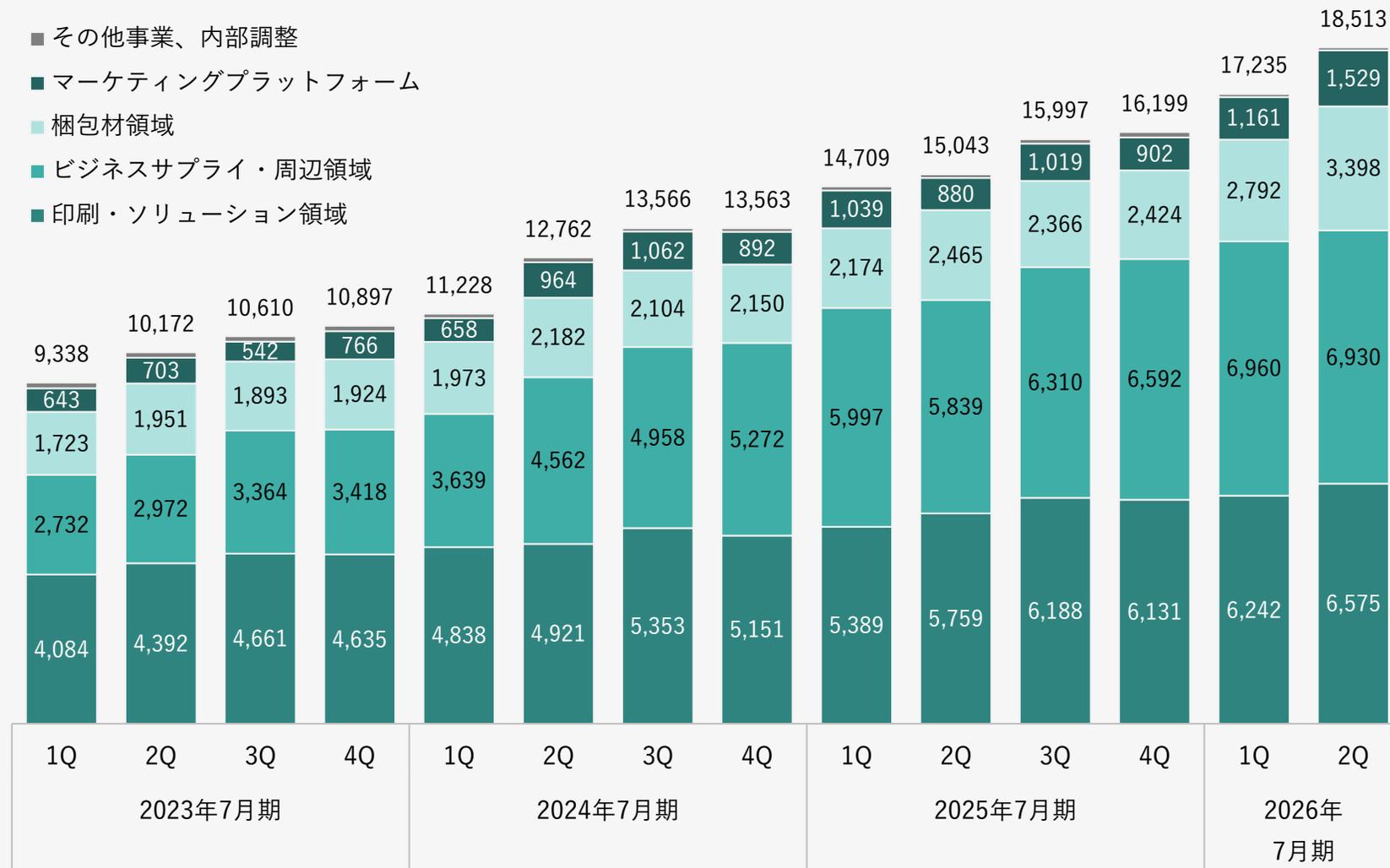
段ボールや紙袋などのパッケージング

マーケティングプラットフォーム事業

マーケティングSaaS、ホームページビルダー、
広告代理店事業

(百万円)

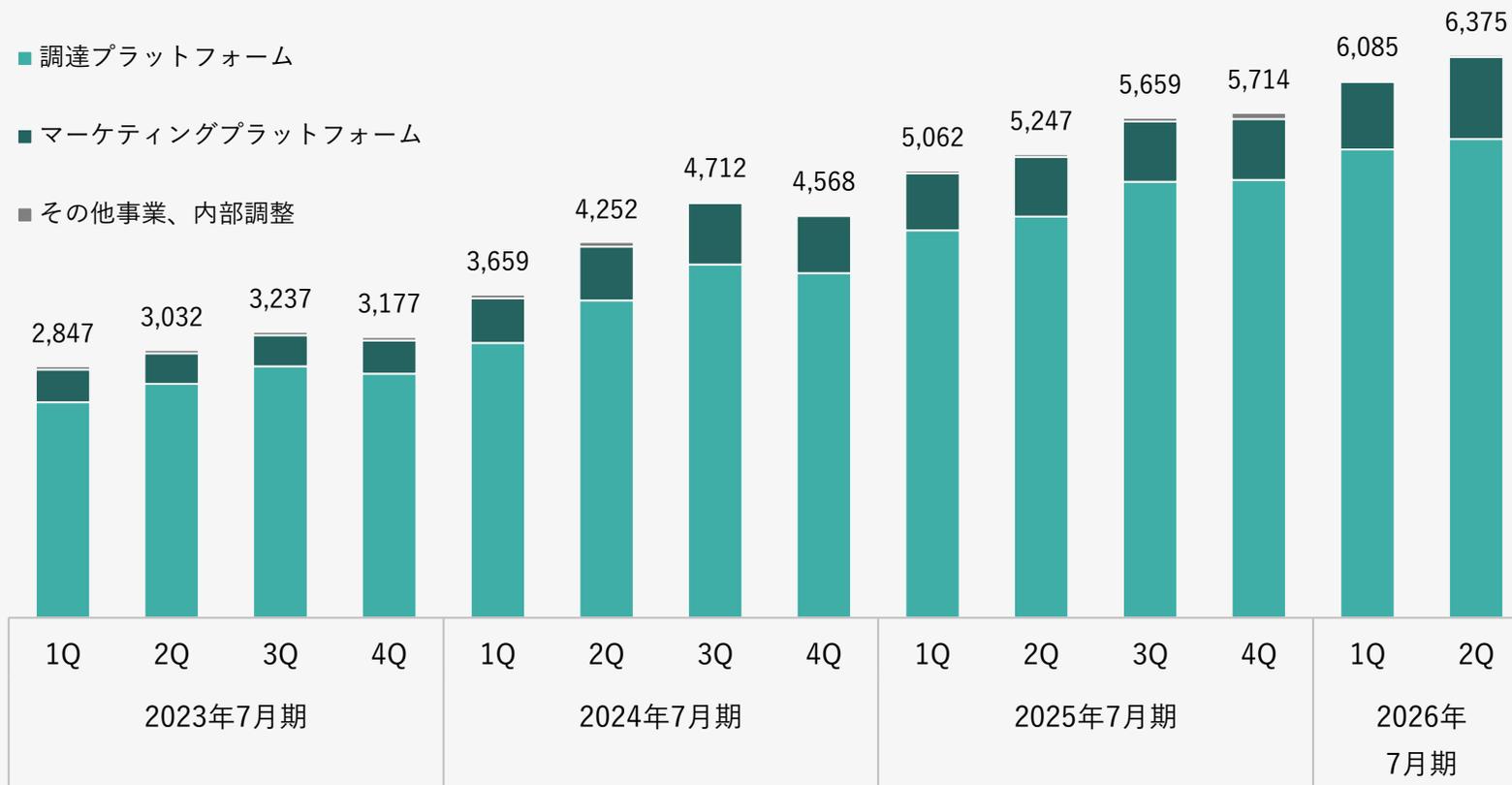
- その他事業、内部調整
- マーケティングプラットフォーム
- 梱包材領域
- ビジネスサプライ・周辺領域
- 印刷・ソリューション領域



連結売上総利益の推移

- 売上高の拡大に加えて拡大する売上総利益率により、売上総利益は成長トレンドを継続

(百万円)



売上総利益率のイメージ

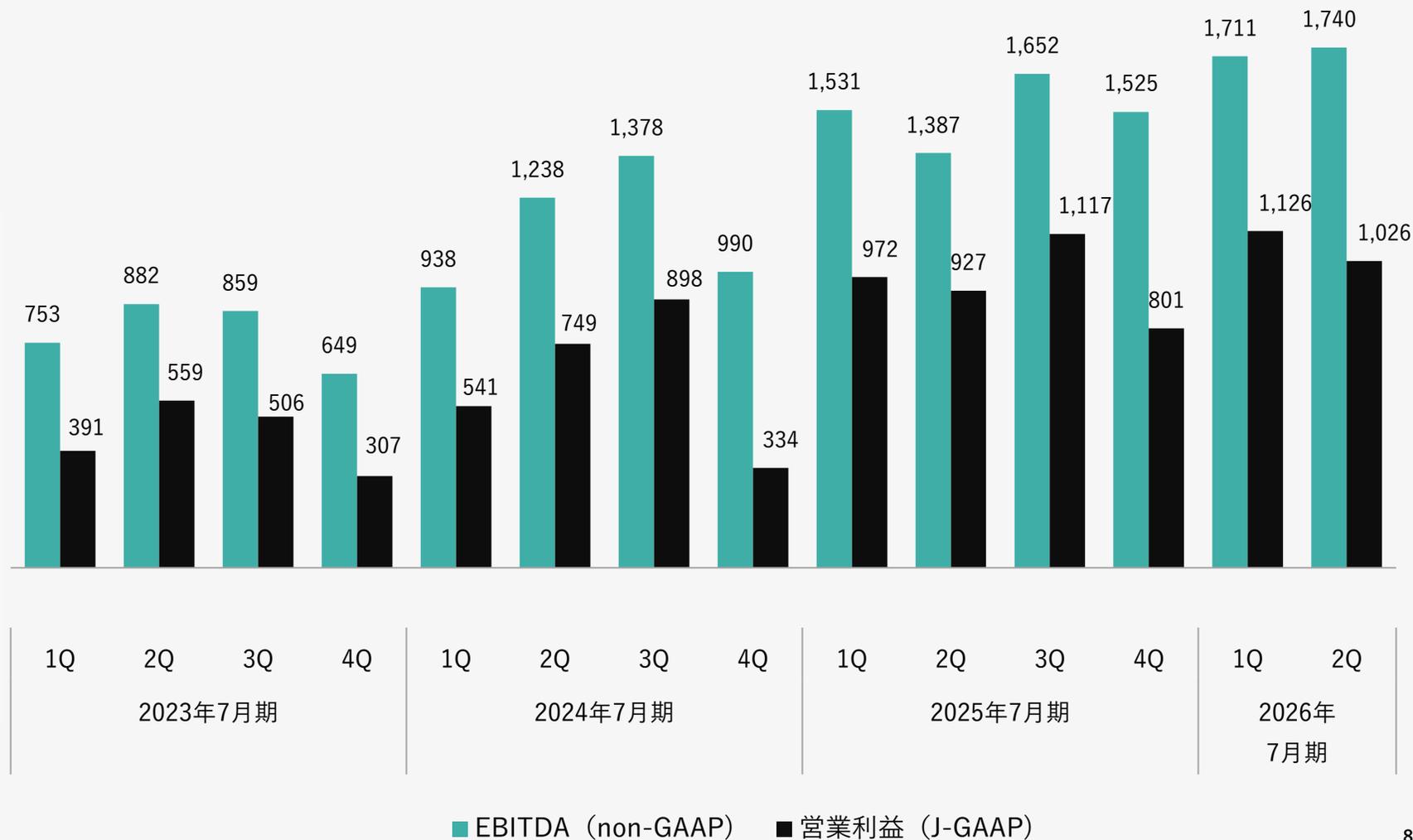
調達プラットフォーム事業：30 - 33%

マーケティングプラットフォーム事業：55 - 65%

EBITDAの推移

- EBITDAと営業利益は継続的に成長
- 年間を通じて様々な成長機会に対して投資を行うことで、四半期の利益のボラティリティを抑制

(百万円)

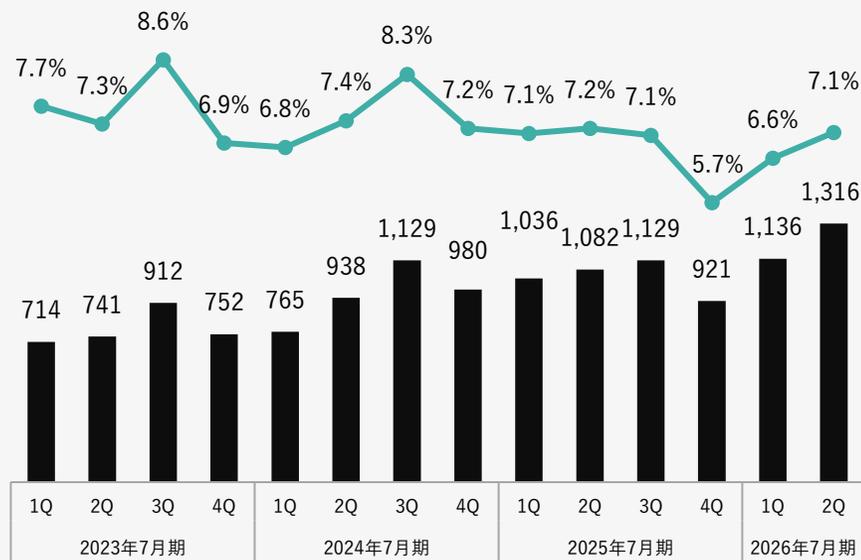


全社販売管理費の推移(1)

- 広告宣伝費、技術開発を中心に積極的な成長投資を継続

(百万円)

広告宣伝費と対売上高比率



テクノロジー・開発投資額と対売上高比率



(百万円)	2023年7月期				2024年7月期				2025年7月期				2026年7月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社販管費総額 ⁽¹⁾	2,151	2,206	2,436	2,587	2,833	3,155	3,495	3,777	3,702	3,985	4,203	4,390	4,585	4,870
広告宣伝費	714	741	912	752	765	938	1,129	980	1,036	1,082	1,129	921	1,136	1,316
Tech & Development	470	432	465	506	564	503	614	622	652	681	761	765	721	647
その他	966	1,032	1,058	1,328	1,426	1,711	1,715	2,024	1,980	2,159	2,240	2,503	2,670	2,897
一過性費用 ⁽²⁾	-	-	-	-	78	2	36	150	32	63	73	200	57	8

注

(1) 株式報酬費用、のれん償却費を含まない

(2) 一過性費用にはM&Aに関わる仲介手数料やDD外注費、オフィス移転に関わる一時的な費用や二重家賃を含む



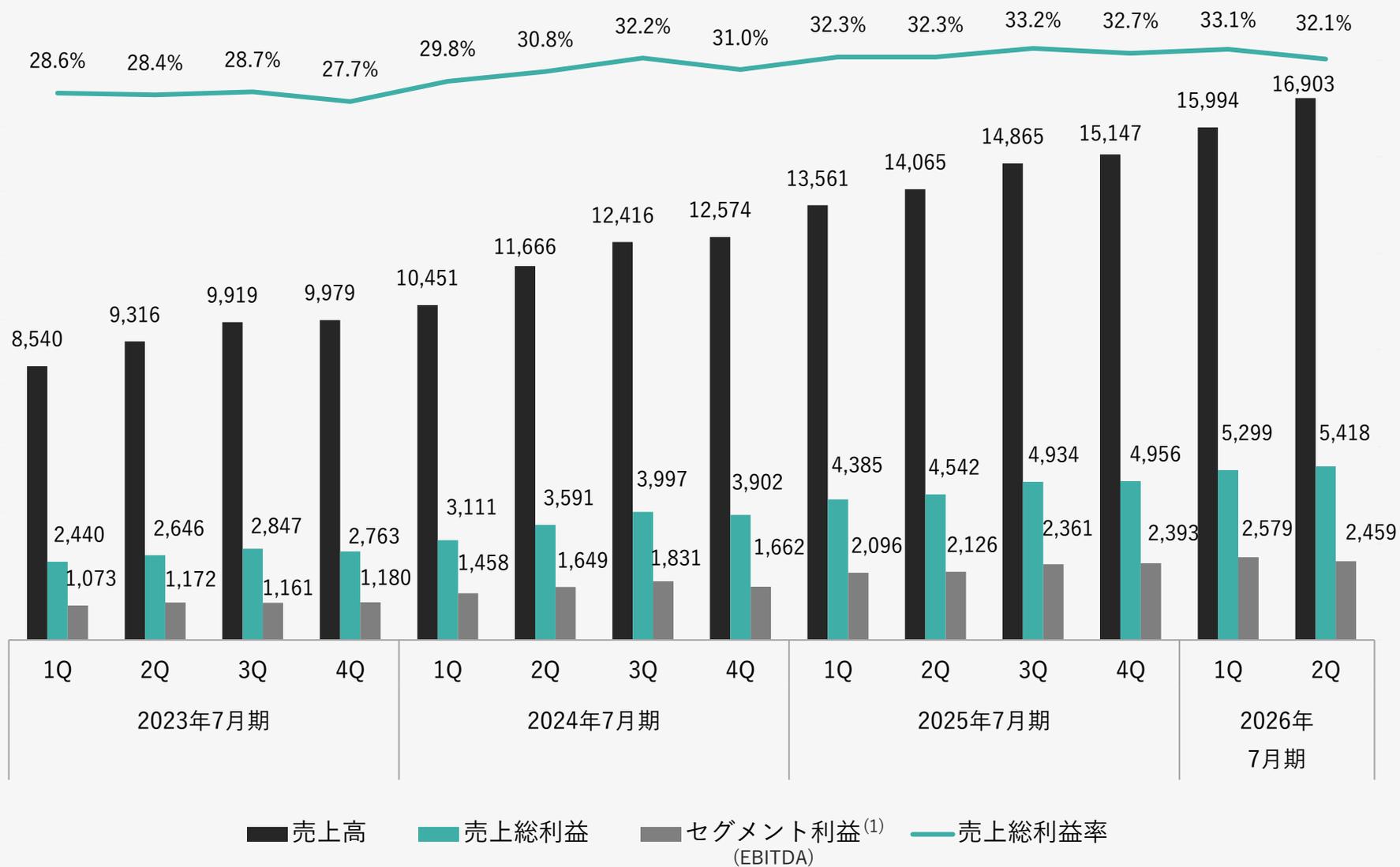
調達プラットフォーム事業 売上高、売上総利益 セグメント利益

- 引き続き連続的なオーガニック成長とM&Aによる規模拡大が継続

この事業に含まれる主なサービス



(百万円)



注
(1) 販管費に内部取引を含む

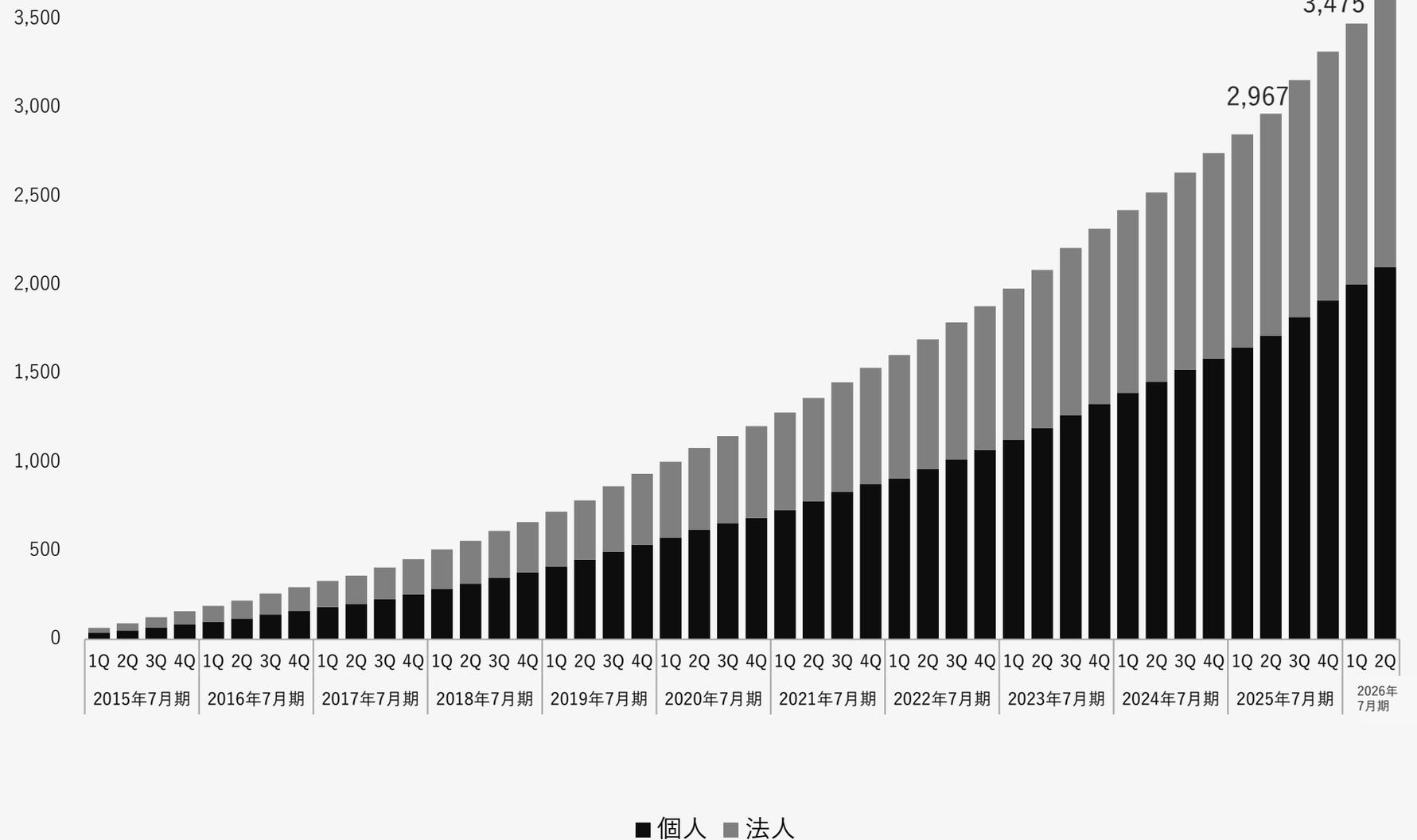


RAKSUL ID

累計登録ユーザー数 推移

- 顧客基盤は継続的に拡大
- 2Qの累計登録ユーザー数は3,648,217

(千ユーザー)



3,648

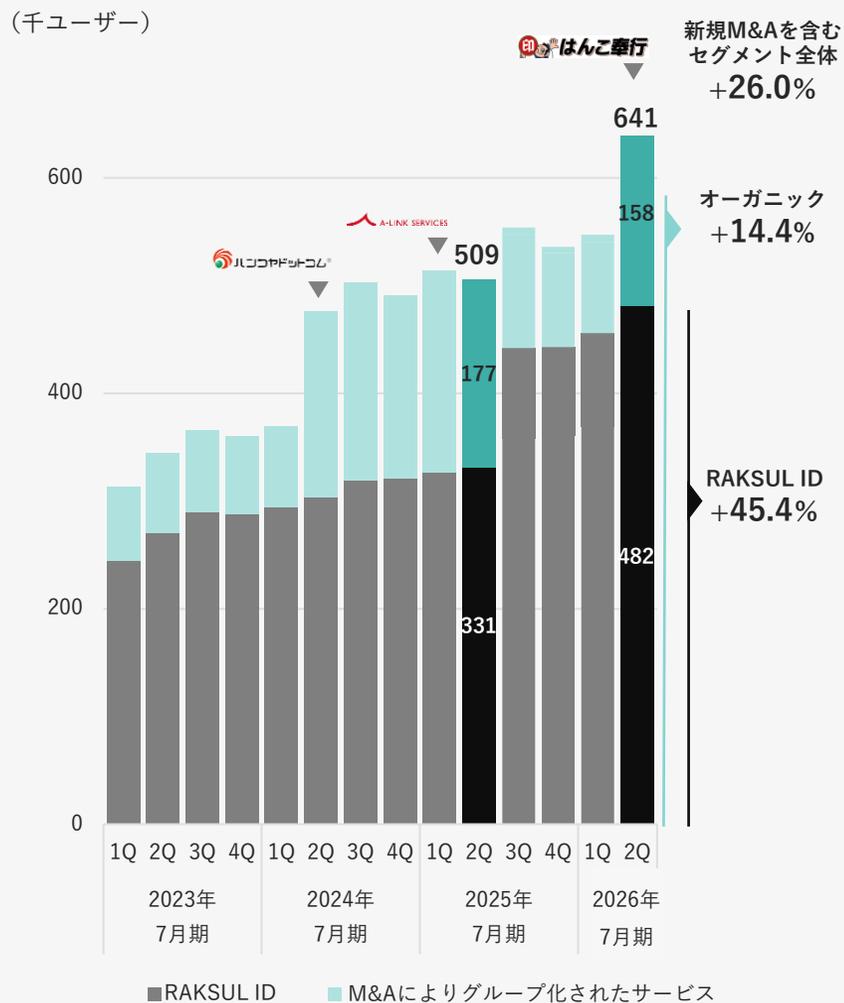
3,475

2,967

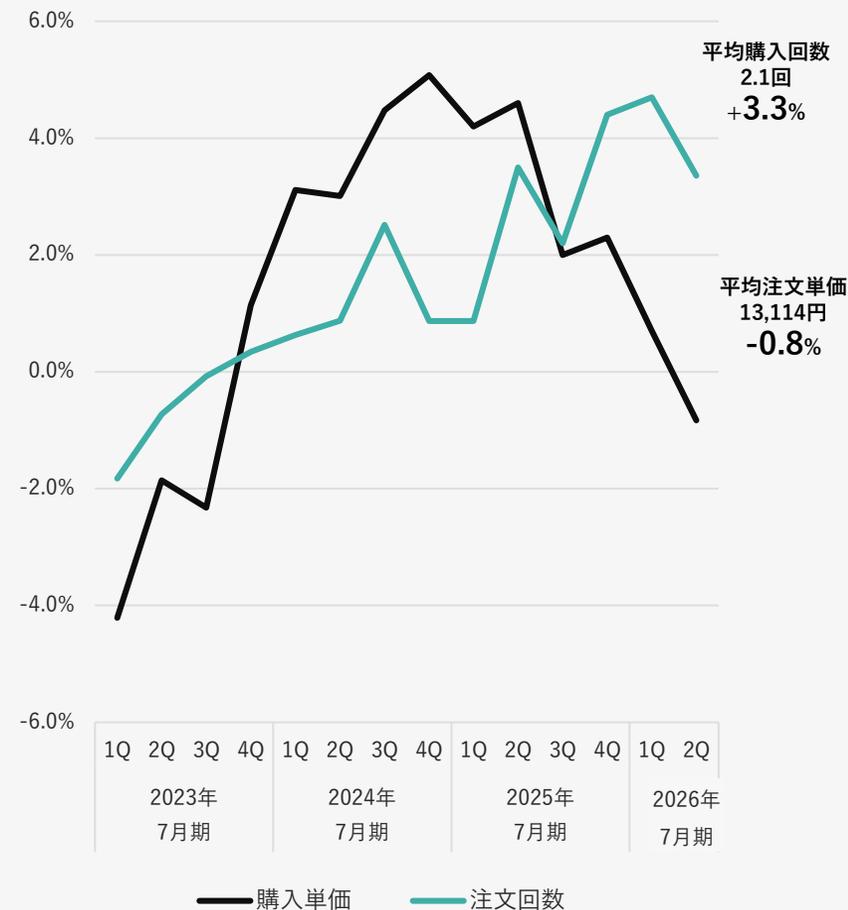
調達PF事業 KPI推移

- ID統合や内部プロモーションなどによるクロスセルは徐々に好影響が出ており、購入回数は拡大基調

四半期購入ユーザー数



四半期平均注文回数と単価YoY推移 (既存サービスのみのオーガニック成長率)





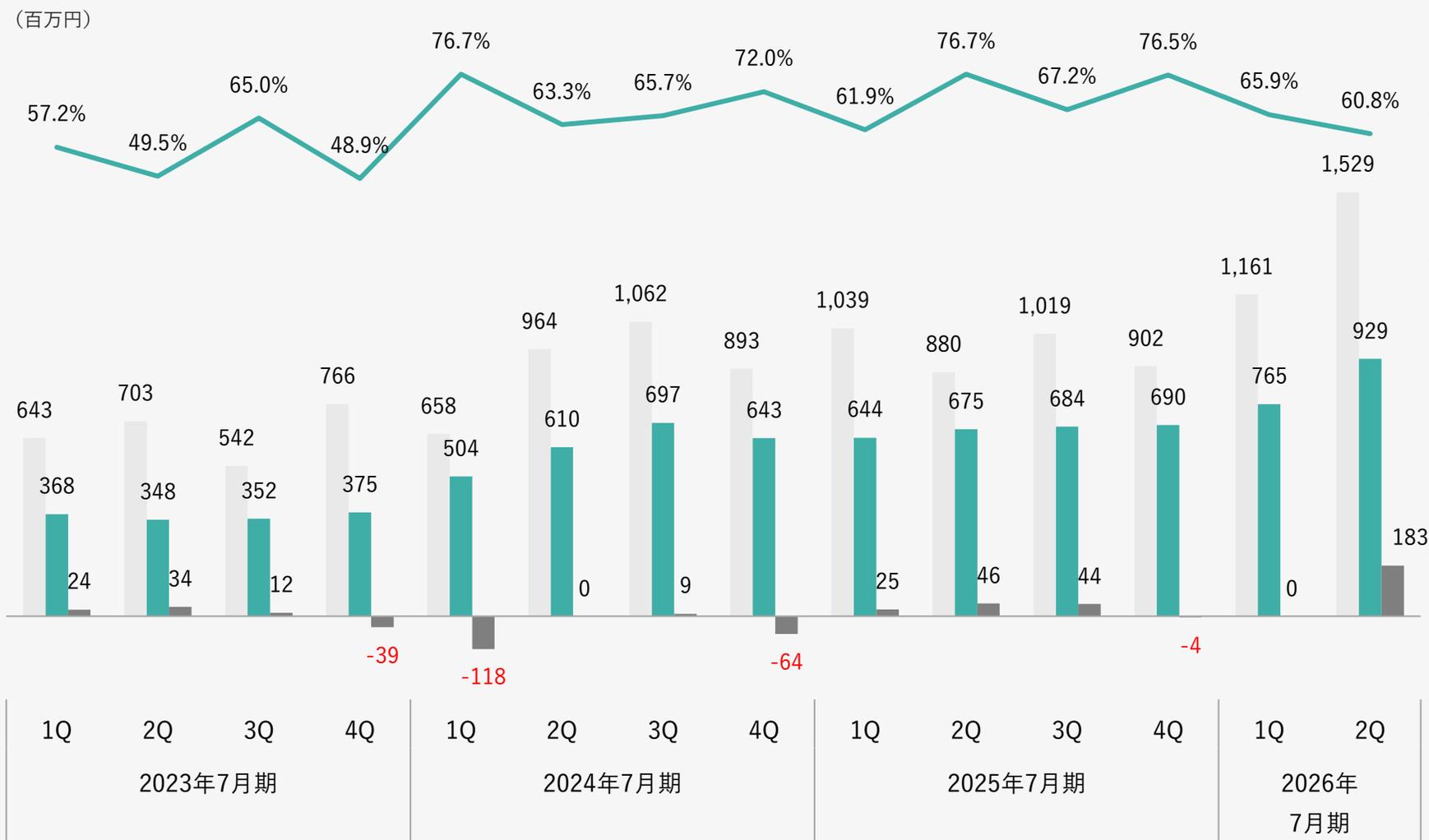
マーケティング プラットフォーム事業 売上高、売上総利益 セグメント利益

■ 通期では前年の利益水準を大きく上回る見込み

この事業に含まれる主なサービス



(マーケティングソフトウェア関連)



売上高 売上総利益 セグメント利益 売上総利益率⁽¹⁾

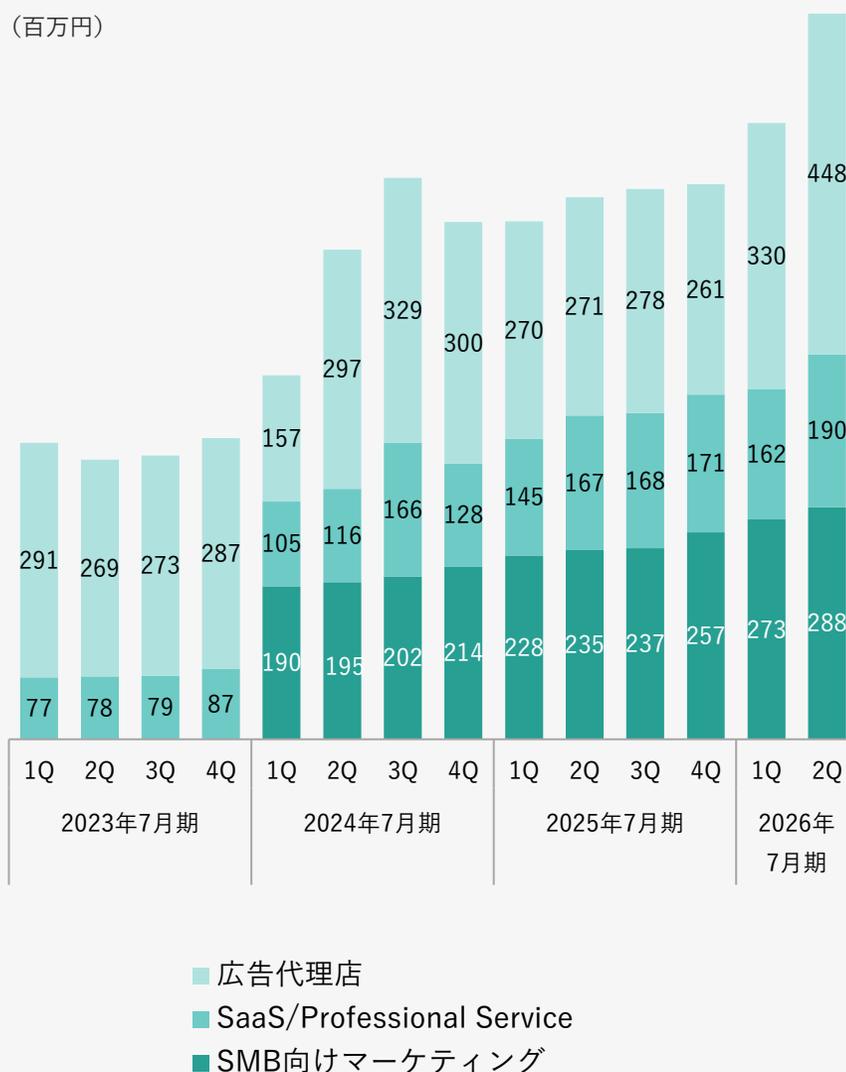
注
(1) 売上高、売上総利益、販管費に内部取引を含む

マーケティングPF事業 KPI推移

- 広告代理店事業はFUSIONの連結や1Qからの期ずれがあり売上総利益が拡大
- SMB向けマーケティングではHP制作や決済取扱高が拡大し連続的に成長

売上総利益の推移

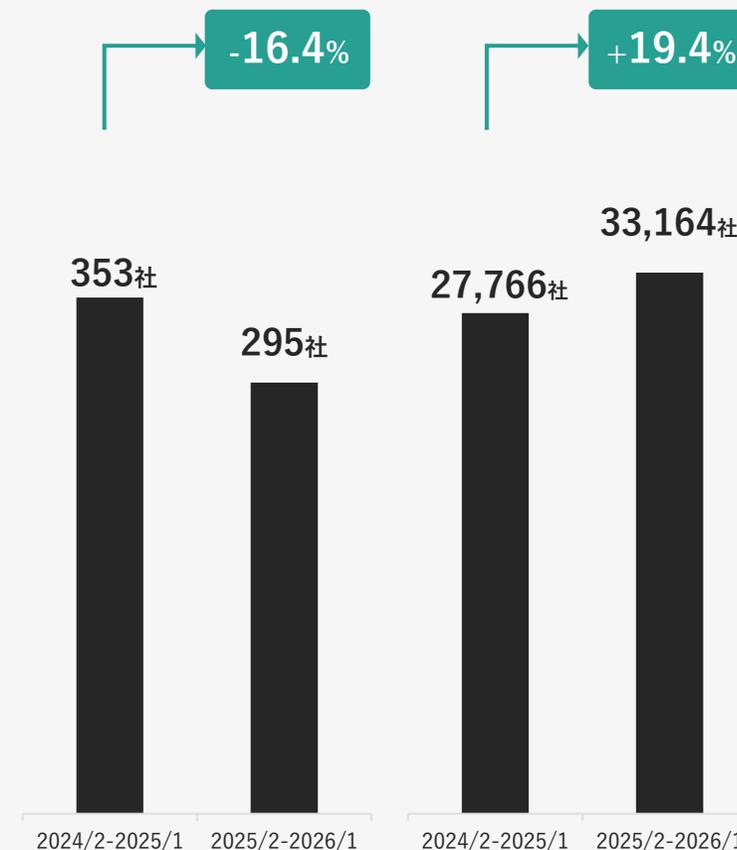
(百万円)



年間利用社数

中堅・大企業

個人事業主・中小企業⁽¹⁾



注

(1)個人事業主・中小企業に含まれるベライチ利用者数は、決算時点での登録者数を集計

ROS株式会社の株式取得

- マーケティングプラットフォーム事業（ノバセル社）において中小企業向けホームページ制作・運用事業を展開するROS株式会社の株式を取得



ROS株式会社

相手先 事業概要

沖縄県を中心に中小企業向けホームページ制作・運用事業を展開。
アウトバウンド営業と対面営業を組み合わせた独自の営業モデルと、営業人材の育成・組織化に関する高いノウハウを有し、月額1万円程度でサーバーや保守・運用までを含めた丸投げ型のホームページサービスを提供

目的

近接領域への拡張

- ROSの営業力と、一括請負型のホームページ制作サービスの知見を獲得し、「デジタル施策に手が回らないSME層」へのアプローチを強化
- HP制作をエントリーポイントとした、グループ商材のクロスセルによるSME顧客基盤の拡大

業績

2026年2月よりマーケティングプラットフォームに寄与。
連結業績に与える影響は軽微、第3四半期に数千万円前半の取引関連費用を計上予定



M&Aのトラックレコード

- 2024年7月期より連続的なM&Aを開始。専任のM&Aチームを組成して体制を強化
- 2024年7月期以降のM&Aにおける投資は累計で約78億円⁽¹⁾、EV/EBITDAは4倍台

決議年度	連結開始	会社名 ⁽²⁾		事業内容	
2022年7月期	2022年2月	(株)ダンボールワン	ダンボールワン	段ボール、梱包材のECプラットフォーム	調達PF
2024年7月期	2023年8月	(株)ラクスルファクトリー	ラクスルファクトリー	オンデマンド印刷の生産拠点	調達PF
	2023年8月	(株)ペライチ	ペライチ	ホームページ作成・決済サービス構築SaaS	マーケPF
	2023年10月	(株)AmidAホールディングス	AmidA Holdings	印鑑・スタンプの製造、販売	調達PF
	2024年3月	(株)Wild Side	Wild Side	テレビCMの代理店	マーケPF
	2024年6月	(株)エーリンクサービス	A-LINK SERVICES	トートバッグの製造、販売	調達PF
	2024年6月	(株)Antoo	Antoo	中小企業向けの動画・映像制作	マーケPF
2025年7月期	2024年11月	印刷ソリューション領域の事業会社		印刷ブローカレッジ	調達PF
	2025年1月	(株)オールマーケ	All Marke	ウェブマーケティングの代理店	マーケPF
	2025年7月	(株)メーリングジャパン		ダイレクトメールの発送	調達PF
	2025年8月	丸玉工業(株)/丸玉ウェル(株)	GNAS MARUTAMA WEL	オリジナル紙袋の製造販売、就労継続支援A型事業所	調達PF
2025年8月	(株)FUSION	FUSION	デジタルマーケティングの広告代理店	マーケPF	
2026年7月期	2025年12月	ECサイト「はんこ奉行」	はんこ奉行	スタンプ、名入れ文具等のカスタム事務用品の販売	調達PF
	2026年2月	(株)チームライク	team like	ビニールカーテン等のBtoB受注プラットフォーム	調達PF
	2026年2月	ROS(株)	ROS	中小企業向けホームページ制作・運用事業	マーケPF

注
 (1)将来のアーンアウト等含む、ネットキャッシュを除いた株式取得費用、ペライチの段階的取得は含まず
 (2)決議時の会社名

連結BSサマリー

- のれん対純資産の比率は32.7%
- Net Debtは約18億円

(百万円)



2

1. 2026年7月期第2四半期 連結業績
2. 参考資料

経営陣



代表取締役社長 グループCEO

永見 世央

みずほ証券、カーライル、DeNAを経て2014年4月に当社入社。金融・投資会社を通じて幅広い知見を有しており、財務戦略全般に精通



上級執行役員 ラクスル事業本部 本部長

渡邊 建

トヨタ自動車を経て、2017年7月に当社入社。BtoB印刷プラットフォームのサブライ戦略企画、パートナー工場BPR、新規事業開発、M&A先のPMIなどを主導



上級執行役員 グループCAO コーポレート本部 本部長

西田 真之介

森ビル、DeNAを経て2014年8月に当社入社。2018年マザーズ上場やこの数年のコーポレートアクション全般を担当し、Chief Administrative Officerとして企画・設計・実行を牽引



上級執行役員 グループCTO テクノロジー本部 本部長

竹内 俊治

楽天グループでGeneral Managerやメディア・エンタメ部門のデータ利活用の責任者、ウェルснаナビでCTOを務めた後、2024年2月に当社入社。全社のエンジニア組織を牽引し、グループシナジーの最大化に取り組む



取締役会長

松本 恭攝

A.T.カーニーを経て2009年9月に当社設立。印刷業界の遊休資産を活用する「シェアリング・エコノミー」というビジネスモデルを確立



上級執行役員 グループCRO ノバセル株式会社 代表取締役社長

田部 正樹

丸井グループ、テイクアンドグヴ・ニーズを経て2014年8月に当社入社。テレビCMを中心とした新規顧客獲得とデータドリブンなCRMによるリピート率の安定化を得意領域とし、プロモーションだけでなく、4P戦略全般を管掌



上級執行役員 グループCFO

ファイナンス&サステナビリティ本部 本部長
ラクスルバンク株式会社 代表取締役CEO

杉山 賢

ゴールドマン・サックス証券にてテクノロジー業界のアナリスト業務、サイカにてCFOを務め2023年11月に当社入社。投資家との対話、資本政策、成長に必要な財務リソースの立案を統括



上級執行役員 グループCIO 兼 グループCDO

藤門 千明

LINEヤフー株式会社にて、CTOや検索事業の責任者を歴任後、2025年3月に当社入社。テクノロジープラットフォーム基盤の構築をリードし、グループシナジーの最大化とプロダクト開発の高度化を牽引

経営陣 (社外取締役)



社外取締役
宮内 義彦

1964年4月 オリエン特・リース株式会社
(現 オリックス株式会社) 入社
2003年6月 同社 取締役兼代表執行役会長/グループCEO
2014年6月 同社 シニア・チェアマン
2019年10月 当社取締役



社外取締役
小林 賢治

2005年4月 株式会社コーポレートディレクション 入社
2009年4月 株式会社ディー・エヌ・エー入社/執行役員就任
2011年6月 同社 取締役
2017年7月 シニフィアン株式会社設立 (共同代表)
2020年10月 当社取締役



社外取締役
村上 由美子

1991年9月 国際連合カンボジア暫定統治機構
1997年5月 Goldman Sachs and Co. マネージングディレクター
2009年9月 クレディ・スイス証券株式会社 マネージングディレクター
2013年9月 OECD東京センター所長
2021年6月 MPower Partners Fund L.P.設立 ゼネラルパートナー
2021年10月 当社取締役



社外取締役 監査等委員
琴坂 将広

2004年9月 マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク入社
2013年4月 立命館大学経営学部准教授
2015年4月 フランス国立社会科学高等研究院日仏財団
アソシエイト・フェロー
2016年4月 慶應義塾大学総合政策学部准教授
2017年6月 当社社外監査役 (現社外取締役/監査等委員)



社外取締役 監査等委員
宇都宮 純子

2000年4月 弁護士登録/長島・大野・常松法律事務所入所
2007年10月 株式会社東京証券取引所出向
2011年11月 宇都宮総合法律事務所開設
2018年2月 宇都宮・清水・陽来法律事務所開設 パートナー
2018年10月 当社社外監査役 (現社外取締役/監査等委員)



社外取締役 監査等委員
黒澤 久美子

2002年10月 中央青山監査法人(後のみずぎ監査法人)入所
2007年7月 新日本監査法人(現、EY新日本有限責任監査法人)入所
2023年1月 黒澤久美子公認会計士事務所開設 所長
2024年7月 独立行政法人労働者健康安全機構 監事(非常勤)
2024年10月 当社社外監査役 (現社外取締役/監査等委員)

セグメント別財務情報

		2023年7月期				2024年7月期				2025年7月期				2026年7月期	
(百万円)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	調達PF	8,540	9,316	9,919	9,979	10,451	11,666	12,416	12,574	13,561	14,065	14,865	15,147	15,994	16,903
	マーケPF	643	703	542	766	658	964	1062	893	1,040	880	1,019	902	1,161	1,529
	その他・内部調整	154	151	147	151	118	131	87	96	108	97	113	148	79	80
売上総利益	調達PF	2,440	2,646	2,847	2,763	3,111	3,591	3,997	3,902	4,385	4,542	4,934	4,956	5,299	5,418
	マーケPF	368	348	352	375	504	610	697	643	644	675	684	690	765	929
	その他・内部調整	38	37	37	38	43	50	16	22	32	29	40	68	21	26
セグメント利益 (EBITDA, non-GAAP)	調達PF	1,073	1,172	1,161	1,180	1,458	1,649	1,831	1,662	2,096	2,126	2,361	2,393	2,579	2,459
	マーケPF	24	34	12	-39	-118	0	9	-64	25	46	44	-4	0	183
	その他・内部調整・ 全社費用	-345	-324	-315	-491	-401	-410	-462	-607	-591	-785	-753	-864	-869	-902
セグメント利益 (J-GAAP)	調達PF	875	942	926	956	1,172	1,304	1,488	1,173	1,735	1,755	1,991	1,907	2,196	1,960
	マーケPF	17	21	-0	-53	-135	-14	-9	-99	-27	-36	-18	-179	-90	93
	その他・内部調整・ 全社費用	-501	-404	-419	-595	-495	-539	-580	-739	-736	-791	-856	-927	-977	-1,026
EBITDA	全社	753	882	859	649	938	1,238	1,378	990	1,531	1,387	1,652	1,525	1,711	1,740

non-GAAP利益と 会計上の利益の差異

- 従来GAAPの調整項目は株式報酬費用のみだったが2024年7月期2Qよりのれん償却費を追加
- 退職者保有のRS償却を営業外費用で計上するため、営業利益段階と経常利益段階での差異は異なる

(百万円)	2026年7月期2Q末 2025年11月-2026年1月		
	実績 non-GAAP	差異 株式報酬費用+のれん償却費	実績 J-GAAP
売上高	18,513	-	18,513
売上総利益	6,375	-	6,375
営業利益	1,504	478	1,026
EBITDA	1,740	80	1,660
経常利益	1,465	478	987
当期純利益	1,833	478	1,355

貸借対照表

(百万円)	2025年7月期末	2026年7月期2Q末
流動資産	24,505	26,702
現金及び預金	15,557	14,010
固定資産	19,794	20,889
資産合計	44,299	47,591
流動負債 (うち有利子負債)	16,098 (6,634)	16,054 (6,128)
固定負債 (うち有利子負債)	12,224 (10,501)	11,330 (9,243)
純資産	15,976	20,206
資本金	2,919	4,736
資本剰余金	3,842	5,665
利益剰余金	6,262	8,252
自己株式	-1,701	-1,701
新株予約権	1,443	125
その他	3,211	3,128
負債・純資産合計	44,299	47,591

キャッシュフロー 計算書

(百万円)	2025年7月期末	2026年7月期2Q末
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,992	1,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,184	-4,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	-4,258	764
現金及び現金同等物の増減額 (新規連結による増減含む)	-1,457	-1,546
現金及び現金同等物の期末残高	15,557	14,010



仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる

ディスクレーマー

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。

さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

実際の結果は環境の変化等により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、

当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、

かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問い合わせ先

IRグループ

Email : ir@raksul.com

IR情報 : <https://corp.raksul.com/ir/>